

令和6年1月25日

豊田市長 太田 稔彦 様

藤岡地域会議
会長 山本 盛彦

答 申 書

地方自治法（昭和22年法律第67号）第202条の7第2項の規定に基づき諮問を受けたことについて、下記のとおり答申します。

記

第9次豊田市総合計画に掲げる本市のまちづくりの方向性である「(仮称) ミライ構想」のめざす姿やまちづくりの基本的な考え方、都市構造についての方針などについて、その視点、基本的な考え方、方針など全体を通して賛意を表します。

少子高齢化により人口減少が進む藤岡地区ですが、未来に向けてどうするべきかという観点で、住民が元気で楽しく、若者の愛着を形成し、住みたくなる・住み続けたくなるまちづくりを念頭に、藤岡らしさを加えた意見を次のとおり取りまとめましたので、計画策定に反映されるようお願いいたします。

1 まちづくりの方向性

(1) 100年人生、生きがいを持って暮らせるまち

- ・お年寄りになってもやたら元気で、生きがいを持って、安心して暮らせるまちづくりを目指してほしい。

(2) 愛着・誇りの形成ができるまち

- ・住民同士が仲よく、支え合うことができ、生まれ育った故郷に、若者がいつか戻ってきたいと思えるまちづくりを目指してほしい。

(3) 多様なライフスタイルを尊重しあうまち

- ・人もペットも誰もが、住みたくなるまちづくりを目指してほしい。

(4) つながるまち

- ・拠点間や他の地域と連携したまちづくりを目指してほしい。

(5) 産業や観光が発展するまち

- ・企業も進出したいと思えるような魅力を持ち、観光資源に多くの人が集まるまちづくりを目指してほしい。

2 まちづくりのめざす姿・基本的な考え方

●継承

(1) 心豊かなつながりづくり

- ・多様な世代の人と人がつながり、また助け合える心と心のつながりを大切にしてほしい。

(2) 今あるものを活かす

- ・まちづくりに活かすことができる、地域の豊富な自然を大切にしてほしい。

(3) かけ算で魅力創出

- ・新たな発想による職業の安定や子育て支援を大切にしてほしい。

●深化

(1) 未来を見据えて軸をつくる

- ・元気なお年寄りや、元気な世代が活躍でき、また、まちづくりの中で何か軸をつくり、それを誇りにしながら暮らせる環境づくりを大切にしてほしい。

(2) 前向きに柔らかく考える

- ・「できない」ではなく、「ならどうすればよいか」と前向きな発想ができるよう、様々な世代の意見を聞くことを大切にしてほしい。

(3) 自ら考え、動き、次世代に伝える

- ・どのような地域にしたいのか住民自身が考え、行動につなげる「チェンジ・チャレンジ」精神を大切にほしい。

深化には、**3つの「変える」を意識する**とあります。良い考えではあると思いますが、住民一人ひとりが意識し、行動につなげるまでの手立ての考えがあるのか気になります。市民への浸透度の見える化や、見方を変えるヒントとなる他の地域を知る機会や様々な世代の話聞く機会を、これまで以上に増やすことを提案します。

3 都市構造のイメージについて

今の構想によると、中山間部の人口が、(仮)えきちか居住誘導エリアに益々流出し、藤岡地区がさらに縮小し、単なる通過地点とならないかとても懸念します。過疎化が深刻になってからでは遅いと考えます。

そうならないために、足助と同様に「広域の生活拠点」としての位置づけや、人口を増やすための住宅地の整備や商業施設の誘致を、積極的に行っていただくことを提案します。

詳細は別紙のとおり

『藤岡ライフ ～こどもからお年寄りまでが、やたら元気なまち～』